



神戸市兵庫区の南禅寺派恵林寺は新築中だったが、本堂、庫裡ともに全壊した



庫裡、山門など全壊状態の浄土宗願成寺（神戸市兵庫区）は、避難住民に本堂を開放、庫裡の一部を霊安室として提供して、境内で炊き出し奉仕を行っている

兵庫県南部地震・第四報



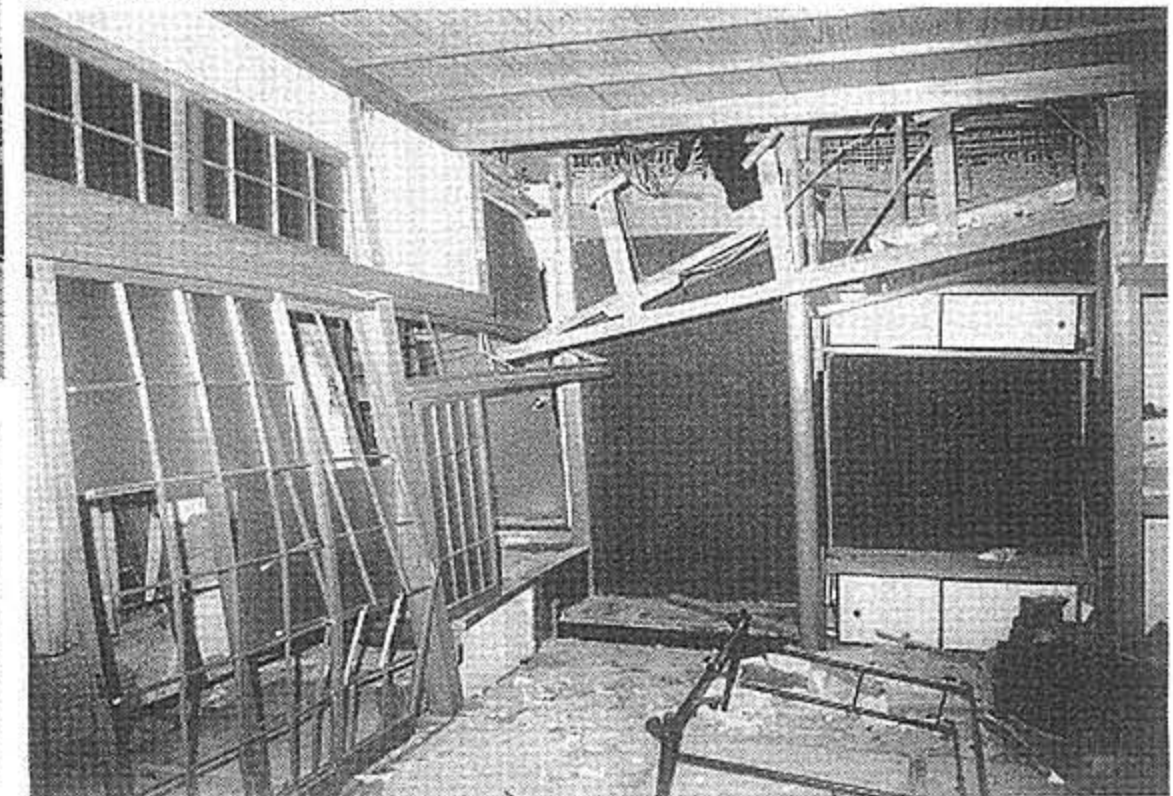
「兵庫大仏」で名高い兵庫区の天台宗・能福寺では本堂が倒壊寸前の被害を受けたが、青銅製の大仏は無傷だった



自然食品の店舗になつて一階部分が押しつぶされた世界救世教のMOA西宮



兵庫区荒田町の曹洞宗永昌寺は本堂や山門が傾き（写真④）、庫裡（写真⑤）は内部は倒壊寸前の危険な状態にある。安藤匠治住職は「寺を守るため避難所には行きません」と法友や近隣の人たちの救援物資でしのいでいる



日赤に救援金 百万円を寄託

白光真宏会

白光真宏会（西園寺昌美会長、本部＝千葉県市川市中国分）は「兵庫県南部地震」の大きな被害が伝えられた後に、兵庫、大阪府、京都府に在住のメンバーの安全の確認。当初は電話回線がさかたつて連絡がとれない状態だったが、現地のメンバー同士が連絡を取り合い、建物の被害はあったもののメンバーほぼ全員の安全を本部へ伝達した。同会は被災者救援のため救援金百万円を日本赤十字社に寄託した。

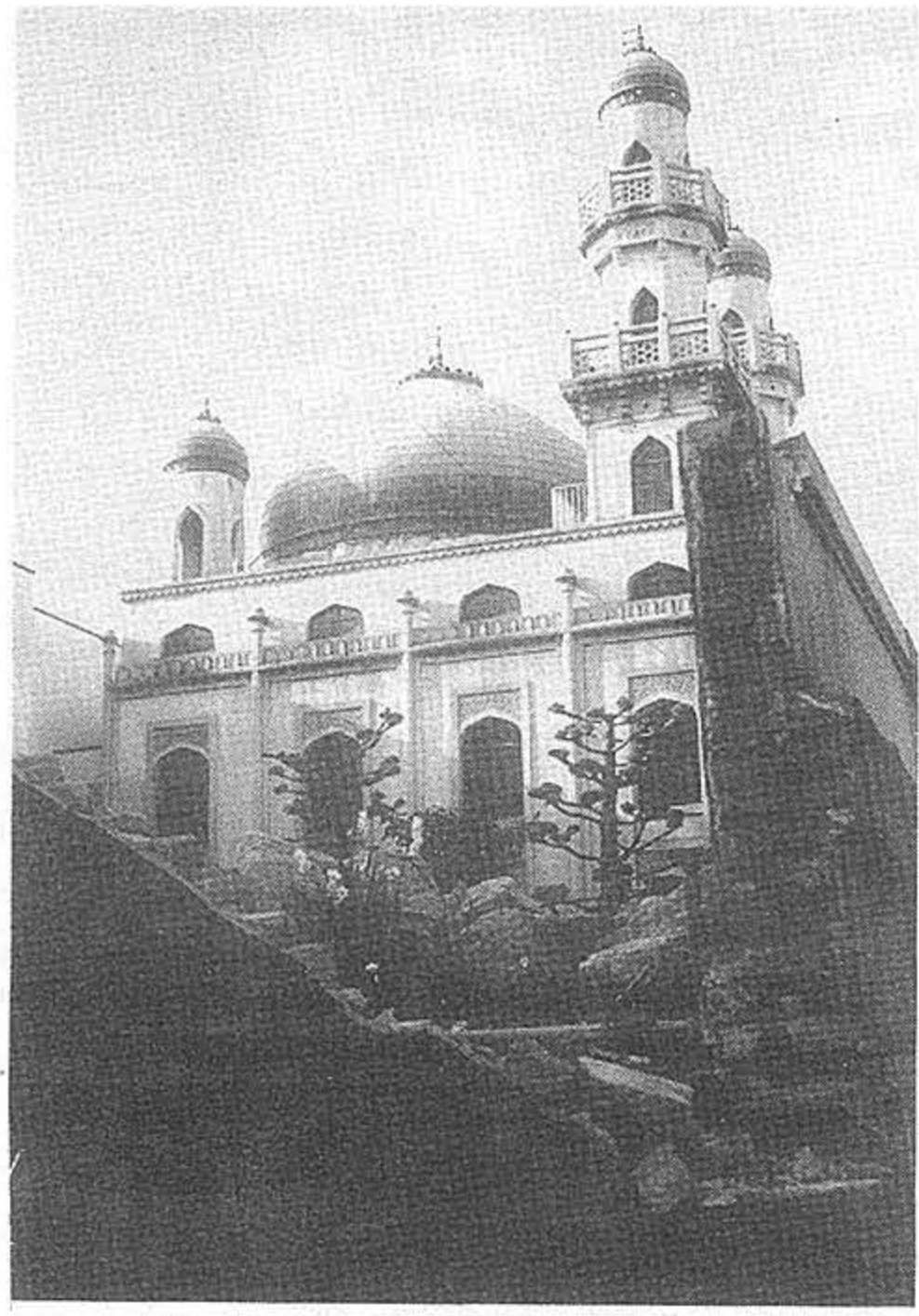
難な段階。火災が多発した長田区には、会員八百人が所属する神戸中央支部（中山数一支部長）があるが、解散会本部に入った連絡によると、建物の損壊はほとんどなく、類焼も免れているという。援助活動の内容については検討中、取りあえずは「一刻も早く現地入りしてお見舞いしたい」（村山正幸総務部長）としている。

一刻も早く 現地慰問を

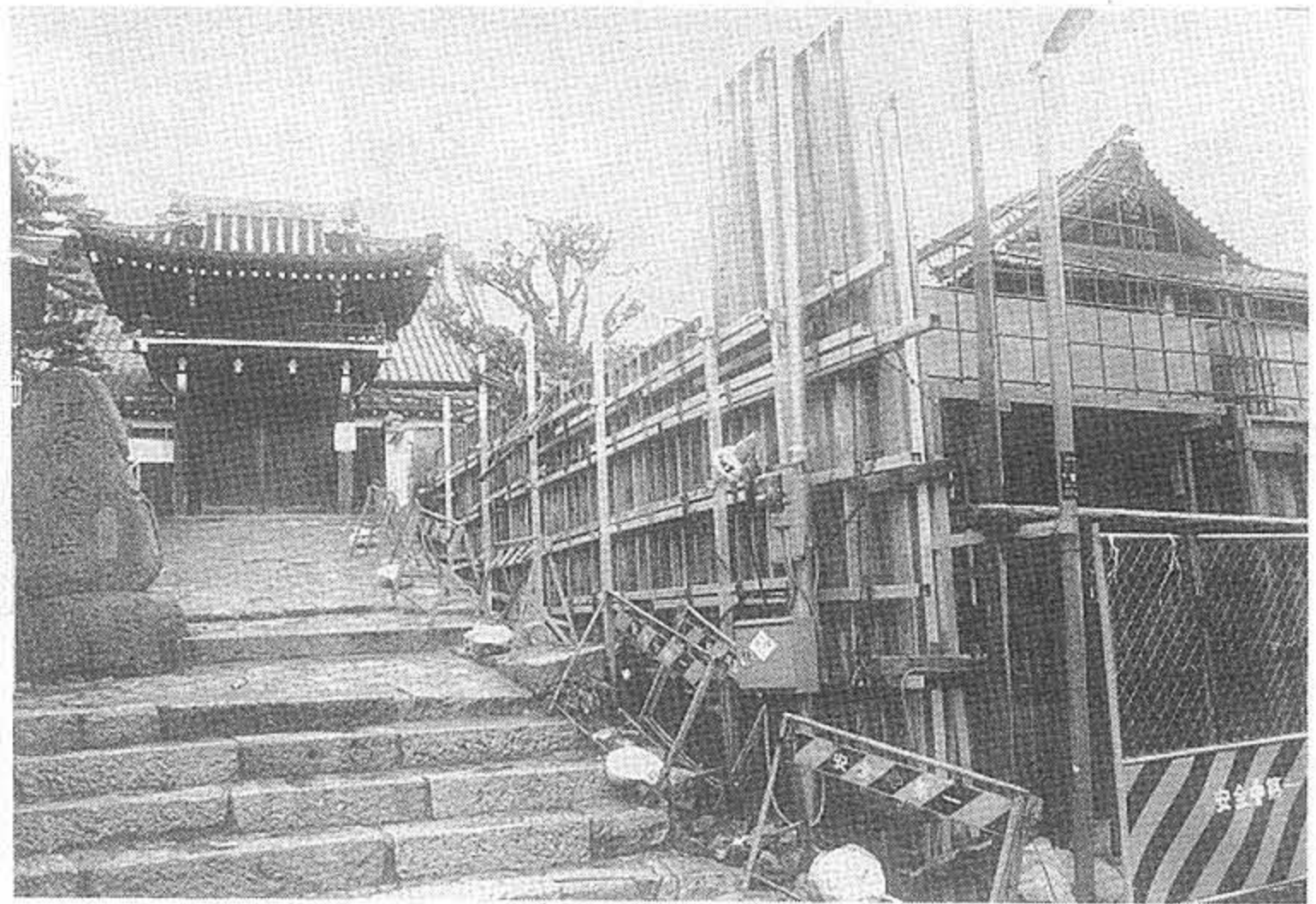
△天理教兵神大教会（神戸市須磨区）△教会の壁が崩れたVPL教団須磨教会（神戸市須磨区）△教会の壁が崩れた▽円応教（兵庫県水上郡山南町）△本部の被害はなかった。△トウル

特に多くの被害者を出した神戸市に七支部を持つ解脱会（岡野聖法法主、東京都新宿区）は、十九日午前の時点で、被災地との連絡が思うままに取れず、被害状況の把握が本部の被害は特になかった。

再建への長い闘いが始まった



日本でただ一つのイスラム教モスク、神戸回教寺院=中央区=は壁が崩落、ムスリム（信者）の老婦人らが集まり後片付けをしていた



神戸市灘区国玉通の曹洞宗海蔵寺は庫裡⑥新築中を被災。境内の地藏像などが倒れたが、原田隆一住職は救援活動に奔走している



神戸市兵庫区の山側・鳥原貯水池の畔に建つ日蓮宗行守寺（清水教信住職）は本堂全壊、庫裡も半壊した⑦。高台の景勝地にある同寺からは、市街地を焼く火の手が見えたという。住職一家はガレージで避難生活⑧



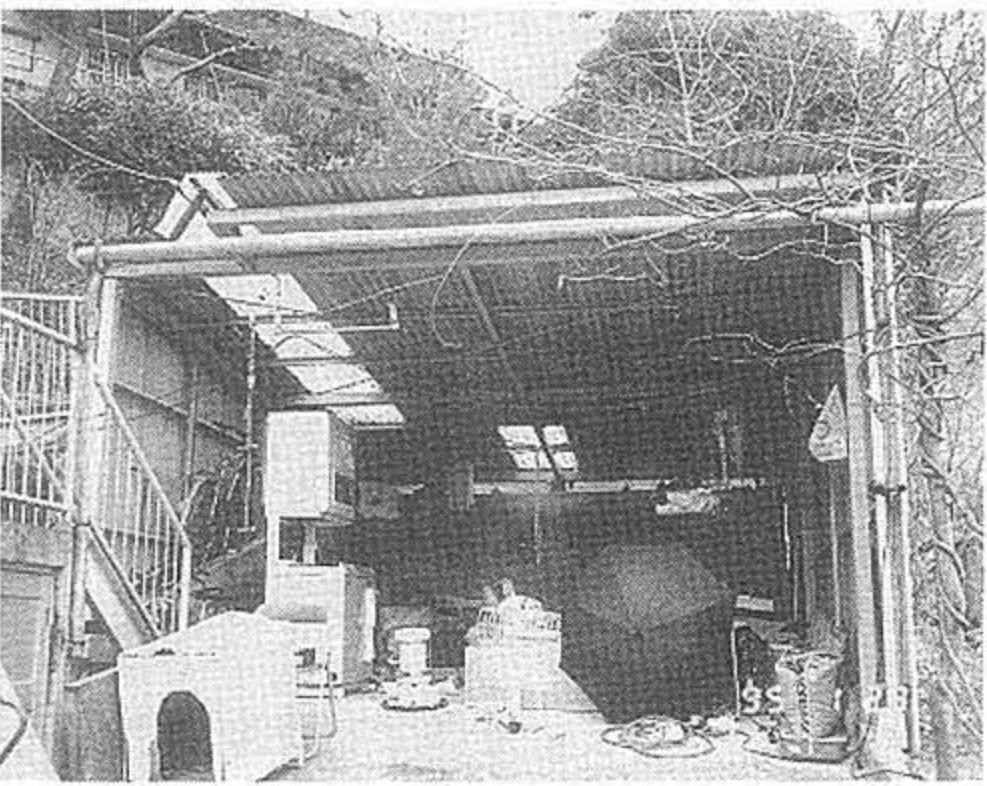
兵庫区会下山町の高台にある本門佛立宗の本法寺は大伽藍の外形をとどめているが本堂・庫裡の内部は損傷が激しい



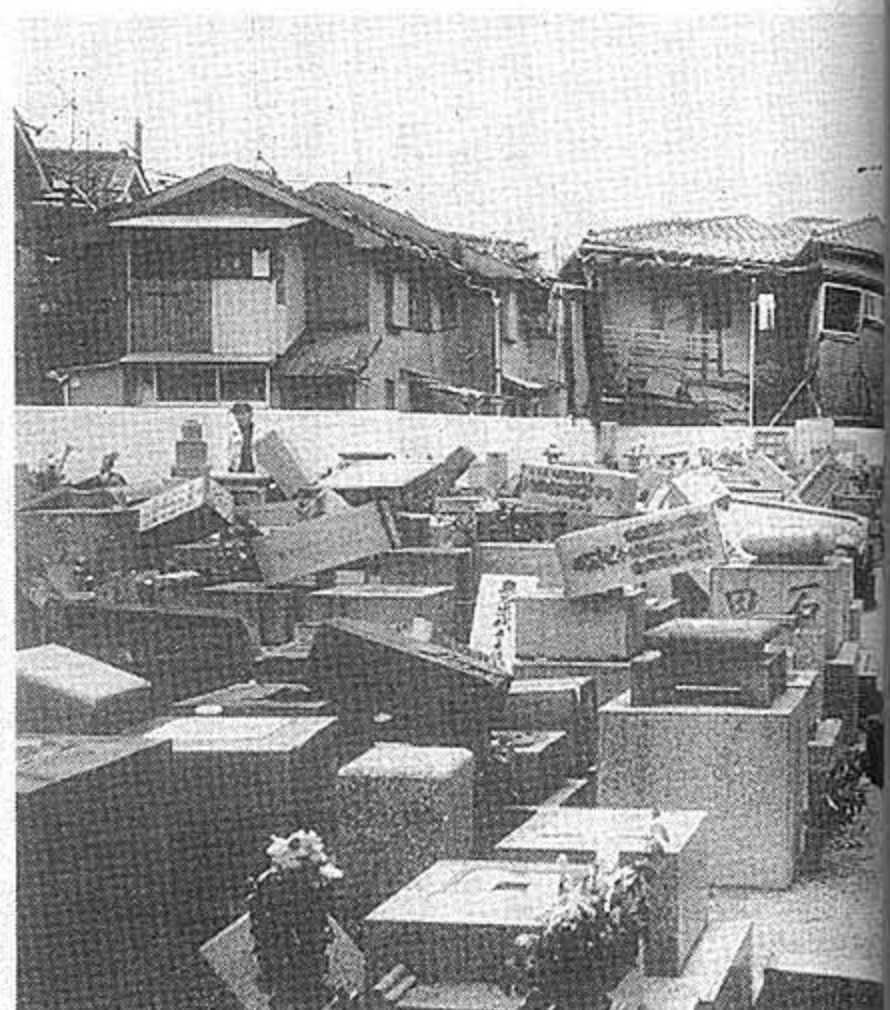
兵庫区の法華宗本門流本光院（藤村隆秀住職）は、本堂半壊、二階建ての庫裡は一階部分がつぶれて平屋のようになり、住職らは現在テント生活中だ



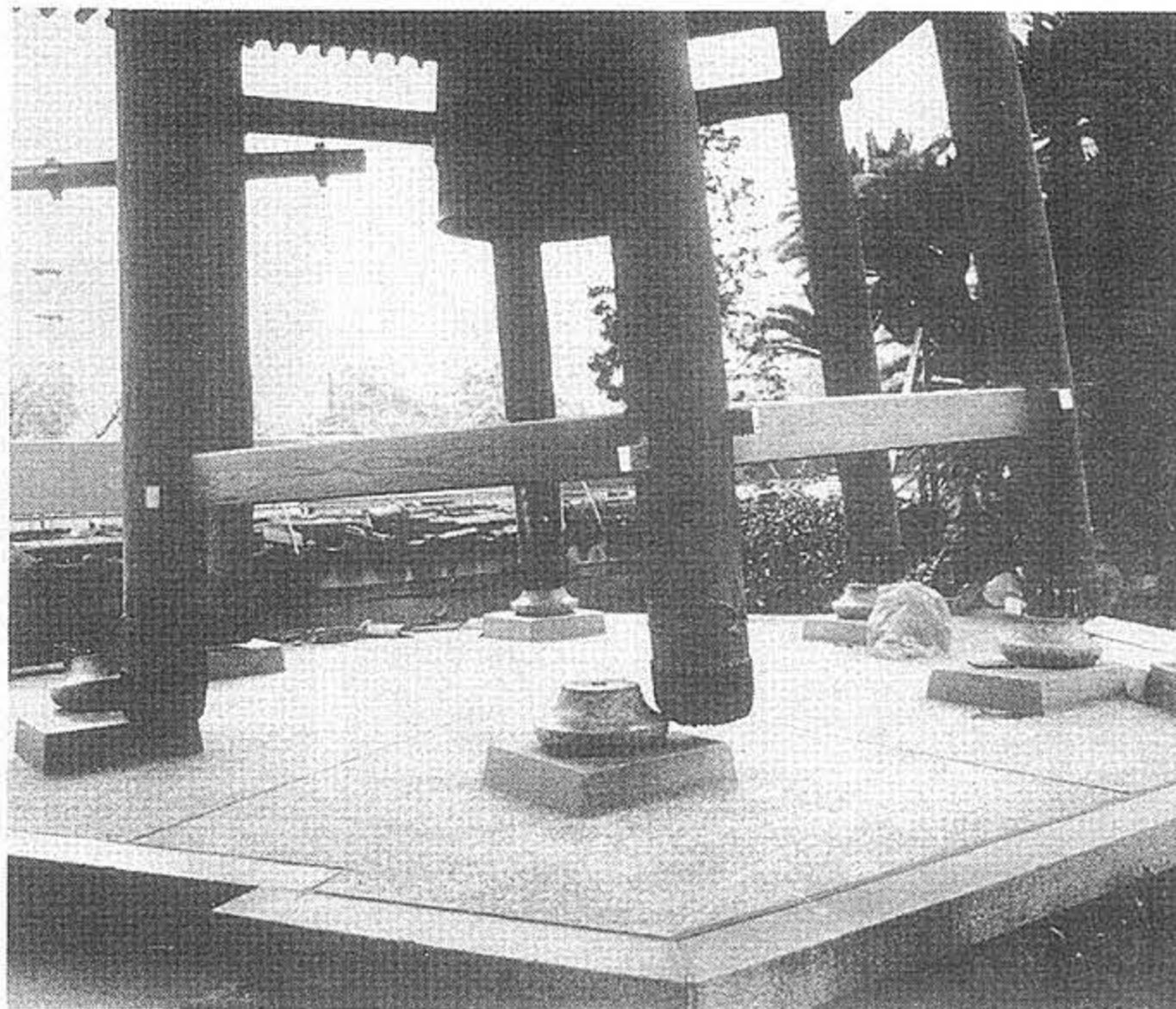
神戸市役所一階に設置されたNTTの無料電話で無事を確認し合う市民



中央区・摩耶山麓の高台にある曹洞宗欽喜寺は石柱が倒れただけ。しかし22日は降雨で緊急避難命令が出た



墓石が全部倒れる被害で済んだ神戸市兵庫区の法華宗本門流久遠寺（岡本顕雅住職）には、兵庫地区の救護対策本部が置かれた



新神戸駅から三筋下った角にある中央区の曹洞宗東福寺は外塀が崩れ(写真①)、六本柱の鐘楼堂は足が外れて倒れる寸前(写真②)。総檜づくりの見事な本堂も、歪んでしまった

兵庫県南部地震・第四報



兵庫区の南禅寺派福厳寺では、伽藍は傾いて、本堂は使用不能になった



にのたくっている現場のすぐ近く。周辺は高台の閑静な住宅街で、土崩やブロック塀の倒壊が目立つ。築後二十七年のMOA西宮の建物は、一階の自然食品の売店、駐車場がそっくり押しつぶされ、乗用車二台が埋もれている。地震の時、宿直の職員が一人いたが、揺れがあった直後に外に飛び出して事なきを得、三階ホールに奉ったあった御神体、岡田茂吉教祖の御真影も無事だった。



神戸市中央区の日蓮宗本妙院(大塚泰詮住職)兵庫東部宗務所長)は本堂屋根・内部に被害を受け、さらに浄行堂・寫経塔は崩壊した



神戸市兵庫区の日蓮宗法華寺(内藤慈宣住職)は本堂が全壊し、屋根だけががろうじて原形を留めている。「朝勤がもう少し早ければ私も下敷きになっていたでしょう」と内藤住職

物心ともども 支援推進

とりあえず さらに募金活動を展開

◆世界救世教◆

世界救世教(川合輝明総長)は静岡熱海市の教団本部に被災地に二千世帯・四千人の信者のうち、二十四日現在、死者十三人、負傷者四十九人、激しい被害のあった神戸市・西宮市・尼崎市などに合計一千五十万円を贈り、順次、各地から寄せられた義援金を届ける方針で、最終的には五千万円を見込んでいる。

大阪府箕面市のMOA大阪(大野慎一MOA関西代表)を置き、信徒の被害状況の把握に全力を尽くすとともに、被災信徒・市民への実質的な援助活動を行なっている。

被災地に二千世帯・四千人の信者のうち、二十四日現在、死者十三人、負傷者四十九人、激しい被害のあった神戸市・西宮市・尼崎市などに合計一千五十万円を贈り、順次、各地から寄せられた義援金を届ける方針で、最終的には五千万円を見込んでいる。

深見教祖現地入り

盲人救援へ ワールドメイト

神道系教団「ワールドメイト」(深見東州教祖、本部)は、兵庫南部地震の被災地(深見東州教祖、本部)を置き、信徒の被害状況の把握に全力を尽くすとともに、被災信徒・市民への実質的な援助活動を行なっている。

被災地に二千世帯・四千人の信者のうち、二十四日現在、死者十三人、負傷者四十九人、激しい被害のあった神戸市・西宮市・尼崎市などに合計一千五十万円を贈り、順次、各地から寄せられた義援金を届ける方針で、最終的には五千万円を見込んでいる。

大阪府箕面市のMOA大阪(大野慎一MOA関西代表)を置き、信徒の被害状況の把握に全力を尽くすとともに、被災信徒・市民への実質的な援助活動を行なっている。

震災から四日目の二十一日は、MOA西宮責任者の岸輝雄さん(三十三歳)が、阪急甲陽線苦楽園駅近くで確保した仮事務所へ引っ越しに追われていた。「余震があるたびに建物に傾いており、予断を許しません」と岸さん。崩落の恐怖を後目に、半日がかりで机や椅子、重要書類、ワープロなど必要品の搬出を完了させた。

対策本部事務局のまとめによると、建物の倒壊が激しかった神戸市東灘区にあるMOA神戸は木造建築だが地震の影響はほとんどなく、MOA宝塚(宝塚市南口)は敷地内に亀裂が走った。MOA明石(明石市朝霧北町)は天井の表面が剥落し、MOA尼崎(尼崎市七松町)はドアの開閉がしにくくなった程度だとい

にのたくっている現場のすぐ近く。周辺は高台の閑静な住宅街で、土崩やブロック塀の倒壊が目立つ。築後二十七年のMOA西宮の建物は、一階の自然食品の売店、駐車場がそっくり押しつぶされ、乗用車二台が埋もれている。地震の時、宿直の職員が一人いたが、揺れがあった直後に外に飛び出して事なきを得、三階ホールに奉ったあった御神体、岡田茂吉教祖の御真影も無事だった。

震災から四日目の二十一日は、MOA西宮責任者の岸輝雄さん(三十三歳)が、阪急甲陽線苦楽園駅近くで確保した仮事務所へ引っ越しに追われていた。「余震があるたびに建物に傾いており、予断を許しません」と岸さん。崩落の恐怖を後目に、半日がかりで机や椅子、重要書類、ワープロなど必要品の搬出を完了させた。

対策本部事務局のまとめによると、建物の倒壊が激しかった神戸市東灘区にあるMOA神戸は木造建築だが地震の影響はほとんどなく、MOA宝塚(宝塚市南口)は敷地内に亀裂が走った。MOA明石(明石市朝霧北町)は天井の表面が剥落し、MOA尼崎(尼崎市七松町)はドアの開閉がしにくくなった程度だとい

「すべてを変毒為薬して行くようよ」と

死者・行方不明者が五千人 西口良三関西長を設置、まを越える大災害となった兵庫



神戸市中央区・兵庫池田文化会館。震災直後から兵庫県南部の被災地の十二の会館が避難所としてフル稼働を続けている

各国SGI、識者から励ましのメッセージ

戦後最大の被害をもたらした兵庫県南部地震は、各国でもトップニュースとして大きく報道されている。



到着した救援物資を搬入する青年部メンバー（西宮市・西宮池田講堂）

青年部数万がボランティアへ

池田名誉会長が謝辞

創価学会では二十一日夕、見舞い申し上げたい。池田大名誉会長、秋谷会長をはじめ全国の同志の皆さま、



メンバーの手により被災者に温かい豚汁がふるまわれた（西宮市・西宮池田講堂）

「学会が最初に動いた」

迅速な救援活動に称賛の声

創価学会では十七日の地震発生後、大阪にいち早く「災害対策本部」を設置。大阪のメンバーはその日に高速艇で被災地の淡路島へ駆けつけ

真心の奉仕活動 海外各紙も報道

「いま一番、望まれているのは、創価学会の会館が被災した人々の避難所として使用されていること」

約六百人の住民が避難している西宮池田講堂。大阪、東京など各地から駆けつけた青年部メンバーによる、ボランティア隊が、続々と到着